

FIFAワールドカップ（W杯）ロシア大会に際して

ロシアでは、2018年6月14日から7月15日にかけて各地（11都市12競技場）でW杯ロシア大会が開催される。

サッカーは、世界で最も人気のあるスポーツの一つで、世界各地で日常的に行われているが、「イラク・レバントのイスラム国」（ISIL）は、「サッカーは西洋の価値観」、「観戦は信仰に悪影響」などとし、「イスラム法に反する」と認識しているとされ、実際、2015年以降、各地におけるサッカーを標的としたテロ事件やテロ計画は、ISILが関与し、又はISILの関与が疑われるものが少なくない。

こうした中、W杯ロシア大会が近づくとつれ、ISIL支持者は、ロシア語のみならず、英語、アラビア語、フランス語、スペイン語、イタリア語、インドネシア語など多言語を使用し、同大会を標的とするテロの実行を呼び掛けるプロパガンダ画像を多数配信しており、中には、爆弾や銃、車両、ナイフなどを用いたテロの実行を推奨するものも見られる。また、2018年4月、ロシア当局は、W杯ロシア大会などに対するテロを共謀したとして、同年1月から3月までの間に12件のテロ計画を摘発し、15人を殺害、189人を拘束したことを発表した。

W杯ロシア大会の開催都市と過去のテロ事件

サンクトペテルブルク

2017年4月3日
走行中の地下鉄車内で、国際テロ組織との関係を持つとされるウズベキスタン系ロシア人の男が自爆テロ。14人死亡、約50人負傷。
北コーカサス地方に拠点を置くイスラム過激組織を自称するグループが犯行声明を放出

2017年12月27日
スーパーマーケットで、民族主義者グループ所属とされるロシア人の男が、爆発物を爆発。18人負傷。
ISILと関連を有する「アーマク通信」が、ISILの犯行と主張

モスクワ

2015年8月7日
イスラム過激派とみられる武装集団が、ISILを批判していたタジキスタン人神学者を銃などで襲撃。
犯行声明なし

2016年8月17日
イスラム過激組織のメンバーとされるチェチン出身の男2人が、斧で警察施設を襲撃。警察官2人負傷。
ISILと関連を有する「アーマク通信」が、「シリアやイラクの空爆に報復する」と主張

ニジニ・ノボゴロド

2016年10月23日
検問所で、ISILメンバーとされる中央アジア出身の男3人が、警察官に向けて発砲。警察官3人負傷。
ISILと関連を有する「アーマク通信」が、ISILの犯行と主張

2018年5月4日
職務質問に際し、身元不明の男との間で銃撃戦。警察官3人負傷。
ISILと関連を有する「アーマク通信」が、ISILの犯行と主張

ヴォルゴグラード

2013年10月21日
走行中の路線バスで、ダゲスタンの武装勢力所属とされる女が自爆テロ。6人死亡、約40人負傷。
犯行声明なし

2013年12月29, 30日
鉄道駅(29日)と走行中のトロリーバス(30日)で自爆テロ。34人死亡、70人以上負傷。実行犯は、それぞれイスラム過激組織所属とされる男ら。
イスラム過激組織を自称するグループが犯行声明を放出

ロシアでは、近年、ISILなどに関連したテロが発生し、2018年にも、こうしたテロが各地で発生している。また、シリアやイラクに渡航して帰国した戦闘員の脅威も懸念されている。さらに、ISIL報道担当は、2018年4月に発出した声明の中で、「ISILによるジハード（聖戦）が新たな段階に入った」とし、ロシアなどへの攻撃を呼び掛けている。ISILにとって格好の宣伝機会ともなり得るW杯ロシア大会の観戦に当たっては、これらの情勢を踏まえ、十分注意する必要がある。

2018年の主なISIL関連のテロ・摘発事案など

▶ 地元ISIL戦闘員らによるテロ

※ W杯ロシア大会の会場のある都市は赤色

月日	場所	概要
2/17	ダゲスタン	ロシア正教教会の信者が銃撃され、5人死亡、実行犯1人殺害。18日にISILの「コーカサス州」が犯行声明
3/20	チェチン	警察官1人が銃撃で負傷、実行犯1人殺害。21日にISILと関連を有する「アーマク通信」がISILの犯行と主張
5/4	ニジニ・ノボゴロド	警察官による職務質問中に発砲。警察官3人負傷、実行犯1人殺害。6日に「アーマク通信」がISILの犯行と主張
5/19	チェチン	ロシア正教教会が襲撃され、信者1人、警察官2人死亡、実行犯4人殺害。20日にISILの「コーカサス州」が犯行声明

▶ 地元ISIL戦闘員らの摘発事案

月日	場所	概要
2/1	ニジニ・ノボゴロド	大統領選挙(3/18)へのテロを計画していたとして1人拘束。即席爆発装置(IED)や銃器、弾薬が押収
3/24	ダゲスタン	情報提供に基づき対テロ作戦が実施され、摘発の際に起きた銃撃戦で連邦指名手配犯1人殺害
4/17	ロストフ	地元でのテロを計画していたとして4人拘束。自動小銃や手りゅう弾などが押収
4/21	スタヴロポリ	地元政府庁舎に対する小火器とIEDを用いたテロを計画していたとして1人拘束
4/26	ダゲスタン	大規模対テロ作戦が実施され、摘発の際に起きた銃撃戦で支持者11人殺害。ISILの旗を押収
4/27	モスクワ、ヤマロ・ネツ	テロ実行のためモスクワ入りしたヤマロ・ネツのテロ要員4人、ヤマロ・ネツでは本件関係者20人拘束
5/4	スタヴロポリ	爆発物を製造しテロを計画していたとして摘発した際に銃撃戦となり、宗教的過激主義指導者2人殺害
5/4	ヤロスラウリ	テロを計画していたとしてISILメンバー5人を拘束。IED、小火器などが押収

▶ その他摘発事案(シリア渡航、ISIL支援など)

月日	場所	概要
3/6	ダゲスタン	少なくともダゲスタン住民4人に対し、戦闘員としてのシリア入りに関与したとして、戦闘員5人拘束
3/13	モスクワなど17か所	中央アジア出身者などISIL支持者らのシリア入りに関係していたとして、旧り連出身者60人拘束。偽造文書作成用紙が摘発、移住証明書、外国旅券の原本の写しなどが押収
3/29	クラスノダール	インターネットを通じ、シリアのISILメンバーらと連絡を取り、戦闘員としてシリア入りを企図していたとして1人拘束
5/23	カリニングラード	ISILの指示に基づき、カリニングラード住民のリクルートを行っていたとして、中央アジア出身者8人拘束